

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	国語「合体漢字のプログラミング」
学年	小学校第2学年
目標	合体漢字作りを通して、漢字に興味をもち、漢字がいくつかの部品から構成されていることに気付く。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	Viscuit
環境	児童用ノートPC40台を整備したPC教室を使用
都道府県	神奈川県相模原市
実施校	相模原市立二本松小学校
学習活動の概要・児童の様子（プログラミングの活動を中心に記載ください。）	<p>I 授業の概要 自分の書いた漢字やその部品を動かし、漢字や熟語を作る活動を行うことで、楽しみながら何度も漢字を書いたり、読んだりできる場面を設定する。</p> <p>II 授業のながれ</p> <ol style="list-style-type: none">1 めあてを確認しよう 「合体漢字をつくろう！」2 コンピュータでViscuitをひらこう ・教員のつくった見本を見て、どのような動作をするプログラムをつくるのか、理解する。3 「Viscuit」を使い、合体漢字作りに取り組む 作りたい合体漢字は、前時までに考えてノートに書き残しておくことで、活動にスムーズに取りかかることができるようにする。4 つくった合体漢字を見合う ※「木」と「木」を合体して「林」を作ったよ。 ※「木」と「林」を合体して「森」を作ったよ。5 まとめ いくつかの漢字を例示し、なんの漢字の組み合わせでできているかを考える。
成果と課題	楽しく学習に取り組むことができた。漢字をどこに配置すれば、思った通りの動きができるか考えながら取り組めた。慣れていない教員のみの実施に課題を感じた。



図 作成するプログラムの実行画面例